

# 希 望

【学校教育目標】「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒

令和7（2025）年10月16日発行

第7号 生徒数：703名

やっぱり皇中が好き♡

## 2学期後半、切り替えてがんばろう！

～「あいさつ」、「みだしなみ」、「言葉づかい」を大切に！～

さわやかな秋風が校庭の金木犀の柔らかな香りを運んでくれ、気持ちの良い過ごしやすい季節となりました。また、皇中祭も終わり、2学期後半に向け各学年とも次の目標に向かって取組を始めてくれています。

2年生は、10月22日（水）から始まる職場体験学習に向けて、「働く意義」や「マナー講座」など、学びを深め、準備を進めています。将来に向けての貴重な体験となることと思います。そして、様々なことを感じ取ってくれることを期待しています。また、秋季大会や生徒会役員選挙など、3年生に代わり、皇子山中学校を担うリーダーとして、学校を引っ張ってほしいと思います。

3年生は、いよいよこれから進路決定に向けて、一段と集中して学習に取り組む時期になっています。各学級で担任の先生と進路相談する姿を見ます。一人ひとり進む進路はそれぞれ違いますが、互いの目標や進路を叶えられるよう、互いのがんばりを支え合い、励まし合あって歩んでいきましょう。

1年生は、これから11月の校外学習に向けて準備を進めていきます。また、4月に入学してから半年がたちました。改めて、入学の時の目標や思いを思い返し、日々の学校生活を大切に過ごしてほしいと思います。

そこで、2学期後半の学校生活を過ごす上で、次の3つのことを心がけてほしいと思います。  
**①「あいさつ」、②「みだしなみ」、③「言葉づかい」**です。特に、2年生の「職場体験学習」では、地域の皆様や天津市内の事業所の皆様の協力や支援のもと、貴重な体験をさせていただきま。感謝の気持ちを忘れず、人と出会うときは、「あいさつ」と「みだしなみ」、「言葉づかい」を大切にしてほしいと思います。また、3年生も進路決定の際には、面接試験等のある人もあることと思います。「あいさつ」も「みだしなみ」も、そして、「言葉づかい」も、その時だけというのは、なかなか難しいものです。大事な時にきちんとできるように、毎日の習慣として、日常的に意識して学校生活を送ってほしいと思います。それでは、2学期後半、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

## 命を思う集い

10月10日(金)の1校時に「命を思う集い」を行いました。自分や周りの人

の命を大切にすることはどういうことか、自分に与えられた命を輝かせることはどういうことかについて考えてほしいという願いから実施しています。

生徒の中の命を思う集い担当、代議員を中心に進められ、各学年での道徳での学習と人権学習について紹介されました。

1年は、「自分をみつめる」をテーマに学習した障がい者を取りまく人権課題と、葛川ふるさと体験学習での「命をいただく学習」について。2年は、「互いを認め合う」をテーマに学習したSNSの使い方や男女共同参画、ジェンダー平等について。3年は、「自分の生き方を考える」をテーマに学習した多文化共生・国際理解と、いじめについて。

その後、全校で「命の詩」を合唱しました。

2校時は、「命」について話し合うために団別交流会をしました。テーマは「自分を大切にすることは、相手を大切にすることはどういうことか」。異学年がグループになって考え、交流する良さを生かし、自分の命の重さや尊さに気づくことや、日々の生活の中で自分を大切にすることの意味について真剣に考える時間となりました。

2



## 「命の詩」

2021 年度制作

通いなれた道  
ひとり歩く朝  
見上げた空に  
ひとつの雲もなくて  
なぜ生きているの  
なぜ生まれてきたの  
ふとそんなことが  
胸をよぎる日もある

いまここにある命の火よ  
あたかな日の光よ  
その強さを わたしは信じる  
わたしは生きていく

いまここにある命の火を  
君の手の温もりを  
信じ 愛し 遥か未来へ  
わたしは生きていく



○いじめとか、いじりとか人の嫌がることはせず、前向きなことを言うことで、全員がうれしい気持ちになれたと思った。

○一人ひとりの個性や特徴を理解し合える人間でありたい。自分の行動、発言に責任をもって、生活したいと思った。(3年)

○ジェンダー平等に関する学習を通して、「男だから、女だから」という言葉を使わない、家事を分担する、夢を性別であきらめないなど、できることを考え続け、改善し続けることが大切だと思います。(2年)

○障がい者理解に関する学習を通して、自分だけの考え方や意見はもちろん大切だけど、そればかりにとらわれず、たくさんの個性や意見に耳や目を向け、様々な人と分かり合えると思いました。(1年)

道徳・人権学習を通しての感想

○国際理解学習の中で、世界で起きている問題点を見つけるのはすごく簡単だけど、そこから変えるためのアイデアを出すのが難しかった。学校を建てたり、何かをつくったり、整備したり、他国に手伝ってもらうには、まずはお金が必要で、簡単なことではないと思った。(3年)

○SNSの使い方を考える中で、遠くの人と話すことや、調べものがすぐにできるのは便利だが、使い方を間違えるとトラブルにつながるので、知らない人との会話や、個人情報の公開はしないように気をつけたい。(2年)

○葛川ふるさと体験学習での命の学習でいただいたあまごはとてもおいしかった。この学習で、命に感謝の気持ちをもつことが大切だと思いました。(1年)